



箕輪進修高校 進路指導室

2011. 12. 26

No. 73

## 年末年始これからの生き方を考えよう

いよいよ今年も余すところわずかとなりました。この年末年始はこの一年間を振り返ると同時に新しい年に向けての決意を新たにする時期でもあります。卒業年度を迎えた皆さんにとっては今まで以上に、これからの自分の生き方をしっかり考えて欲しいものです。

この一年世の中にも色々なことがありました。東日本の未曾有の大震災、福島原発の放射能汚染、ギリシャ危機を発端とする世界経済の低迷等々。そして何よりもそんな時代背景の中での皆さんの進路選択。特に**就職希望者にとっては大変苦勞した就職戦線**でした。

進学希望者は比較的早くそれぞれの進学先が決まりましたが、2～4年後就職先を決める時に同じような苦勞が待っています。

かつてのような好景気の時代は当分は来ないでしょう。**世の中は難しくなるばかり**です。以前のようにあまり考えなくても誰でもが就職できる時代ではありません。

まして簡単に会社を辞めると次の会社が簡単に見つけれない時代です。それだけ**堅実な生き方を心がけていかないと、自分の思い通りにならない時代**です。

この年末年始には**自分がこれからどう生きていったらよいのか、また自分はどんな生き方を考えているのかをじっくり考えて欲しい**ものです。今は皆さんにとって**大きな人生の節目の時**です。そんな時にしっかりした節を結ばないとこれからの人生を太く大きく生き残れなくなってしまうでしょう。



## 就職支援員中村廣さんに感謝

7月より3年生の就職開拓をいただいた中村さんが明日をもって本年度の支援活動を終えることになりました。今年は昨年よりも就職希望者が30名弱増え、3月の東日本大震災の影響やギリシャを発端とする世界的経済の低迷、秋のタイの大洪水による影響等この一年の就職は先が読めない大変な一年でした。当初は3月になっても20人近い生徒の進路が決まらないのではと心配していましたが、中村さんに精力的に企業開拓をいただき、本日現在8名の生徒がまだ就職先が決まらないという状況にまでこぎ着けました。しかも赤点等でまだ就職活動が出来ない生徒1名を除いて7名は結果待ちを含めていずれかの企業へ応募が決まっています。昨年の今頃まだ10名以上の生徒が残りしかもどこを受けるかも決まらない状況でした。それに比べると雲泥の差です。

中村さんも松本地区から飯島方面までの広範囲の企業を160社近く回っていただき求人開拓をいただきました。皆さんがそれぞれの会社に合格出来たのは自分の力だけではなく、多くの人に助けられていたことを自覚して欲しいものです。特に二次試験以降決まった生徒は何らかのかたちで中村さんに大変お世話になっていました。先日数人の生徒が中村さんにお礼を言いに来ました。なお4月から入社後に安易に会社を辞めると、学校の顔をつぶすだけでなく中村さんの顔もつぶすことになることを肝に銘じて下さい。

あらためて中村さんにこの半年間のご尽力に心より感謝を申し上げたいと思います。